

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

JA共済は、「一人は万人のために、万人は一人のために」という「相互扶助(助け合い)」を事業理念に、「ひと・いえ・くるまの総合保障」の提供と合わせて、「くらし・営農、ひと、いえ、くるまに関する地域貢献活動」を通じ、組合員・地域住民の皆様が「豊かで安心して暮らすことのできる地域社会づくり」をめざしてきました。これは、「誰一人取り残さない」ことを理念とするSDGsに通じるものと認識しています。

2030年に向けて、JA共済ではSDGsへの貢献に向けて対応方向を設定し、「保障提供」と「地域貢献活動」等の事業活動の実践により、持続可能な農業と地域社会の実現を通じて、SDGsの目標の達成に貢献していきます。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に◎)	SDGsに関する重点的な取組み	指標
◎環境 ◎社会 ○経済	【健康で豊かな生活への貢献】 ・農村地域医療の拡充に向けた高機能医療機器の寄贈	・JA熊本厚生連への高機能医療機器の寄贈を継続実施する。
◎環境 ◎社会 ○経済	【安全・安心を実感できる地域社会づくり】 ・交通事故のない社会を目指す交通安全活動の実施	・交通安全ポスターコンクール、JA共済アンパンマン交通安全キャラバン等を継続実施する。
◎環境 ◎社会 ◎経済	【持続可能な農業への貢献】 ・農業高校等への実習用農業機械・器具等の寄贈	・県内の農業高校等へ実習用農業機械・器具等の寄贈を実施する。

<パートナーシップ>

JA共済の事業活動がSDGs達成に貢献していることについて、役職員の理解を深めるとともに、組合員・利用者への理解浸透と対外的な認知度向上に取り組み、JA共済の事業基盤である農業・地域社会の持続可能性を確保するため、これまでの取組みをふまえて、さらなるSDGsの実践に取り組む。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。

○ SDGs に関する重点的な取組み及び指標に係る進捗状況(※更新の場合のみ。)

○登録状況:第 期登録(登録年月日: 年 月 日)

○登録番号: 号

<SDGs に関する重点的な取組み状況、前期の指標及び実績>

三側面 (分野に◎)	取組みの状況	前期の指標	実績
○環境 ○社会 ○経済			
○環境 ○社会 ○経済			
○環境 ○社会 ○経済			

・「登録状況」及び「登録番号」を記載してください。

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。